

2024年3月22日

リコーリース株式会社

〈コード番号:8566 東証プライム市場〉

リコーリース初となる地熱発電事業に参画 ～熊本県の岳の湯地区における地熱発電開発～

リコーリース株式会社(以下、当社)は、3月22日、熊本県阿蘇郡小国町の岳の湯地区で地熱発電開発を進めるわいた第2地熱発電株式会社(本社:熊本県阿蘇郡小国町宮原2322-1 代表取締役社長:赤石 和幸 以下、わいた第2地熱発電)へ匿名組合出資(以下、本出資)を行いましたので、お知らせいたします。本出資を通じ、当社で初めてとなる地熱発電プロジェクト(以下、本プロジェクト)に参画いたします。

1. 背景と経緯

地熱発電は、地下1,000m程度から取り出した蒸気(200～300℃)を活用し、発電を行う再生可能エネルギーの一種です。昼夜・季節を問わず発電可能であり、地下の地熱エネルギーを使うため資源が枯渇する心配がなく、長期間にわたる供給が期待されます。

当社では、2012年より発電事業者に対する太陽光発電設備のファイナンス提供を行い、2018年以降は自らを事業者とする太陽光発電事業を展開してまいりました。太陽光発電事業にとどまらず、再生可能エネルギーの普及を推進することを目的に、この度、地熱発電所を所有するわいた第2地熱発電に対して匿名組合出資を実行し、地熱発電所の開発・保守を受託するふるさと熱電株式会社(本社:熊本県阿蘇郡小国町宮原2322-1 代表取締役社長:赤石 和幸 以下、ふるさと熱電)が推進する本プロジェクトに参画するに至りました。

2. プロジェクト概要

本プロジェクトは、当社における地熱発電事業の第1号案件として、2026年1月から試運転開始、2026年3月から営業運転開始予定です。

岳の湯地区では、地域住民が立ち上げた合同会社わいた会(以下、わいた会)とふるさと熱電とともに、わいた第1地熱発電所(1,995kW)が2015年より稼働しています。本プロジェクトは、その協力体制をもとにした2基目の地熱発電所となります。

【発電所概要】

- 名称:わいた第2地熱発電所
- 所在地:熊本県阿蘇郡小国町
- 発電方式:シングルフラッシュ方式(※)
- 設備容量:4,995kW
- 年間売電量:35,360,000kWh/年(想定)

※シングルフラッシュ方式:蒸気によってタービンを回し、電気を生産する仕組みの「蒸気発電方式」で、坑口から噴出

する熱水と蒸気の混合物である場合に気水分離器で蒸気のみを抽出し、タービンを回す方式。

3. 今後の展開

わいた第1地熱発電所では、発電で使用した蒸気や、蒸気を取り出す際に発生した熱水を、地下に還元する前に地熱資源としてビニールハウス栽培などで活用しております。わいた第2地熱発電所においても、地域住民・ふるさと熱電とともに地熱資源を活用した新たなビジネスを創出することを目指しております。

当社は、本案件により得た知見をもとに、今後も地熱発電事業にファイナンスおよび発電事業者として参画し、脱炭素社会の実現に貢献してまいります。当社は、「クリーンな地球環境をつくる」をマテリアリティの一つに掲げており、今後も、再生可能エネルギーの普及や地域社会の課題解決など事業を通じた取り組みにより、サステナビリティ経営を推進してまいります。



岳の湯地区にて既に稼働済みのわいた第1地熱発電所
(企画・開発 わいた会・ふるさと熱電)

以 上

【本件に関するお問い合わせ先】

リコーリース株式会社 経営企画部 TEL:050-1702-4203(直通) Email:ir@rle.ricoh.co.jp